

## 広島からすべての国の政府への手紙

原爆投下から 78 年目の 8 月 6 日に広島に集った私たちは、すべての国の指導者に、核兵器廃絶にむけた緊急の行動を訴えます。

ロシアのウクライナ侵略がつづき、核兵器が使用されかねない重大な情勢に直面しています。開発されたばかりの一発の原子爆弾は、数万の市民を無差別に殺戮し、ここ広島を一瞬にして「地獄」と化しました。かろうじて生き延びた被爆者も、後遺症や差別に苦しめられました。今日の近代化された大量の核兵器の一部でも使用されるなら、それは人類の破滅につながります。核兵器を使用することは、いかなる状況でも断じて許されません。私たちは、国際社会がその脅威を根絶するために、ただちに力を尽くすことを訴えます。

5 月に広島で開かれた主要 7 カ国首脳会議 (G7) は、核兵器は「侵略を抑止し、戦争と威圧を防止する」と、「核抑止力」論を公然と宣言しました (「核軍縮に関する G 7 首脳広島ビジョン」)。「核抑止」とは、ヒロシマ・ナガサキの惨劇をもたらすことを前提にした威嚇に他なりません。私たちは、被爆地と被爆者を愚弄するこの宣言を断固として拒否します。被爆地・広島から発信すべき真のメッセージは、核兵器の使用とその威嚇を許さず、核兵器のない世界を一刻も早く実現することに他なりません。

現実には戦争が進行し、軍事的緊張が高まっているからこそ、軍縮、とりわけ核軍縮の前進が強く求められています。私たちは現在、オーストリアのウィーンでひらかれている第 11 回核不拡散条約 (NPT) 再検討会議の第 1 回準備委員会が、「核軍備撤廃の有効な措置に関する交渉」を行うことを定めた第 6 条とともに、「核軍備の完全廃絶」の誓約 (2000 年)、「核兵器のない世界の平和と安全の達成」とそのための「枠組」づくり (2010 年) など、これまでの再検討会議の合意を実行する実質的な成果をあげることが求めます。

史上初めて核兵器を違法化した核兵器禁止条約 (TPNW) が発効し、支持と参加が広がっていることは、私たちにとって大きな希望です。第 1 回締約国会議が、政治宣言と行動計画を採択し、条約の運用がはじまっていることを心から歓迎します。TPNW は「核兵器のない世界」という目標達成にむけて NPT を補完するものであり、矛盾するものではありません。NPT に参加するすべての国が、TPNW を支持し、参加することを訴えます。

私たちは市民社会の一員として、諸政府、国連機関と共同して、「核兵器のない世界」の実現にむけて尽力する決意を表明します。原水爆禁止 2023 年世界大会に参加した私たちは、日本の政府が「核の傘」への依存をあらため、核兵器禁止条約に参加するよう力を尽くします。

あなた方が、この広島からの訴えに応じて、行動されることを心から希望します。

2023 年 8 月 6 日

原水爆禁止 2023 年世界大会-ヒロシマデー集会